



あいなん逸品図鑑 その⑤



「ポンカン」

JA農業研修生

加藤 弘樹さん (広見)



愛媛CATV
動画



▲自慢のポンカンを手を持つ加藤弘樹さん。3月には農業研修を終えます。

JAえひめ南の農業研修事業に参加しながら、祖父の園地でポンカン栽培の技術を学んでいる加藤弘樹さん。「祖父が園地をきれいに保っていて、私の代で絶やすのはもったない」と思ったのが就農するきっかけで、令和元年10月からかんきつ栽培を勉強しています。

加藤さんの園地では春から冬にかけて、消毒や除草をしながら栽培し、12月から収穫・出荷を行います。「今年は夏の日差しが強くて日焼けした実が多く、収穫量は減っているが味は甘くて良いポンカンができた」と自信を見せる加藤さん。しかし苦労は多く、「かんきつの中でもポンカンはデリケートなので、一年中状態を観察している」と話し、害虫が付着したり、病気になったりしていないか気を付けています。

「周囲の人からポンカンがきれいで、おいしいと言ってもらえるのがやりがい」と話す加藤さんは今後の展望について、「ポンカン農場と並行して、農地の面積を増やして新しい品種のかんきつにもチャレンジしていきたい」と意欲は十分です。



▲広見地区の園地で、早生品種の太田ポンカンを栽培しています。

投稿写真

読者(町民)の皆さまが撮影した写真を掲載します。

秋晴れの下、会員・事務局合わせて23人が参加し、創設20周年感謝デーを開催しました。みんなで協力しながら、和気あいあいと日頃の感謝を込めて、一致団結のおもてなしの心でお迎えました。

センター2階にて絵画や木彫りふくろう等の展示会を行ったほか、南宇和高等学校農業科の生徒にも参加いただき、焼き鳥や綿菓子、野菜を販売するバザーを実施し、大変盛り上がりました。

移動動物園(ラブリーキングダム)による動物との触れ合いに、子どもたちのみならず、大人も大変喜んでいました。

- ▶撮影者：愛南町シルバー人材センター
- ▶撮影日：10月24日(土)
- ▶撮影場所：御荘老人福祉センター敷地内

「創設20周年
愛南町シルバー人材センター
感謝デー」

写真募集中！



愛南町
ホームページ



▲センター前のバザーの様子



▲移動動物園



▲南宇和高校農業科の販売



▲センター2階の様子